

『一心千里』

永田 隆一

走って見れば、
見えてくる



第120回

京都東山藝妓の北隣
に「声屋」というステ
ィハウスがある。戦後、
京都大学に英語を教えに
来ていたロバートが、英
語を学びにきていた女子
学生と結婚して始めたお
店だ。女将さんの洒脱な
振る舞いはとても人気な
ある。酒はと、何気な
い言動の中に人々をき
ける洒脱の風格が感じら
れる様子言う。

松下幸之助と知り合っ
たロバートは「米国人の
旅行者向けに京都へお店
を出したい」と相談する
と、松下電器の社員寮だ
った、この建物を提供し
てくれたのだ。

また、ロバートが東京
赤坂に旅行代理店のオフ
イスを構えたのだが、そ
のビルに高倉健の事務所
があった。高倉健、トム

・クルーズ、ビル・クリ
ントン、クリント・イー
ストウッドも来店してい
る。

声屋の階は待合室。

リベラルアーツ(教養と常識) コンピュータ・プログラミン

「亮さん、京都ではリベ
ラル・アーツの学校が人
気です。古典・歴史・哲
学・美術・文化をひらた
く面白く教えてくれる大
人の学校です」

「それは、とても素敵
なことだね。僕の友人の
大学教授が言っていた。
世の中の役に立つ学生を
育てようと、技術を徹底
して深掘りする教育をし
てきたが、あまりに世間
知らずで、結局役に立た

ない学生を育ててしまっ
た。落語みたいな、悲し
い真実だ。技術だけに偏
つてはいけないというこ
とだ。リベラルは自由
アーツは知恵やスキルの

ようなもの。人間の心や
生き方を自由にするため
には、古典や歴史を学ぶ。
そして自分で、自分の考
え方を自由にできる徹底
を身につける必要がある
る」。

1階の亮太の席はいつ
も決まっている。北側の
3人が座れるカウンター
の真ん中。ここからは兩
側の庭園が良く見える。
大きな石灯籠が立ってい

るが、とても風情がある。
「まー、社長お久しぶ
りです。また、今日は一
段と別荘さんをお連れさ
れて、娘さんですか」
「私の教子です。雅さ
んです。甲斐で舞妓時代
に英語を教えました」

そして、色んな意見を持
っている人たちがいる。こ
とに気が付いてもう。み
んなに自分の意見を理解
してもらったための話し方
を考える。学校をそうい
うところに変えたのだぞ
うです。素晴らしいこと
です」。

「では、社長は雅さんの
ロバートですね。親近感
が湧いてきます」
「女将さん、2階で教
養や常識がやはり重要だ
と言う話をしていますし

た。学校をどういう授業
を増やさないといけない
と「日本の学校は暗記
ばかりですから。デスマ
ークやフィナンシャルの学
校では、もう20年前から
学校で先生は教えない授
業へ変わっています」
「女将さん、学校では教
えないのですか」
「そうですね。テーマ
を与えて、事実を皆に見
てもらい、生徒同士で話
し合いをします」

命に仕事をしても、たくさ
ん失敗して、戻して、本
を読んで、人の話に教わ
れて、またお金を稼いで
お茶屋遊びになる。そう
いう人たちは教養があっ
て優しい人が多いのだぞ
うです。だから信頼でき
る。少し常識からは外れ
た人も多かったらしいで
すけど」。「笑」

「眼に見えないものは
教えることができない。
教養、人格、倫理感。そ

ういうものは、本人が本
人の感性で学び取るしか
ないでしょうね。しか
し、学べる場所がないの
かも知れませぬね」。

雅はリベラル・アーツ
の学校に通っている。そ
して亮太は、学生時代に
勉強したプログラミン

をもう一度勉強し始めて
いる。クライアントと打
ち合わせをする時、ホワ
イトボードをよく利用す
るが、プログラミンの
記号をよく使う。開始と
終了の長方形の角をまる
めた「端子」、長方形の
処理(入力、出力、演算、
変形の「条件分岐」、少
し複雑なことは別途処理
としてサブルーチンへ飛
ばす。とてもすっきり全
体が見通せるのを気に入
っている。

そして、情報の優先順
位や処理が分かれる分岐
条件を調整する際は、信
兵、秀吉、家康、官兵、
龍馬なら、どう考えるだ
ろつか。そんなことを考
えているのだった。
(毎月連載)